

地震や火災に備え、連携を強化して災害に強いまちづくりを

〈 揖斐川町・揖斐郡消防協会合同総合防災訓練 〉

8月19日(日)、揖斐川町・揖斐郡消防協会合同総合防災訓練が、大和小学校を主会場として行われました。訓練は、静岡県駿河湾と紀伊半島南東沖をそれぞれ震源とする地震が連続で発生したことを想定して行われました。

住民の皆さんは避難広報により集会所などの一時避難所へ、町全域で約1万人が避難し、主会場の訓練には、約1000人が参加しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・通信などの関係機関による復旧訓練や、女性防火クラブや大和小学校少年消防クラブによる初期消火訓練、赤十字奉仕団による炊き出し、災害救援ボランティアによる負傷者搬送訓練など、さまざまな訓練が行われ、地域が一体となって災害時の体制や連携を確認し、防災意識を高めました。



▲災害ボランティアセンター



▲災害救援ボランティアによる救助訓練



▲赤十字奉仕団による炊き出し

交通死亡事故をなくそう

〈 死亡事故抑止緊急作戦 〉

8月7日(火)、揖斐郡内で多発している交通死亡事故を未然に防ごうと、交通死亡事故抑止緊急作戦(8月7日～9月7日)の出発式が揖斐警察署で行われました。

出発式には、揖斐警察署員や県の関係機関、揖斐郡3町の職員ら約70人が参加しました。

揖斐警察署の堀部和男署長は「不幸な事故が起こらないよう、より一層のご協力をお願いしたいと思えます。」とあいさつされ、白バイやパトカーなどの車両が巡回に出発しました。

また、通勤・通学の時間帯には、郡内各所で住民ボランティアの皆さんがのぼり旗を掲げて交通安全を呼びかけました。



▲緊急作戦出発の様子

災害救援車引き渡し式

〈 日本赤十字社が車両配備 〉

8月9日(木)、日本赤十字社岐阜県支部(岐阜市)より地域の防災、福祉活動や災害時の物資輸送などに活用される災害救援車が、県内5地区の分区に配備されることになり、日本赤十字社岐阜県支部で引き渡し式が行われました。

引き渡し式では、同支部の馬淵事務局長が「備えあれば憂いなしという言葉のとおり、災害時以外でも活用してください。」とあいさつされ、宗宮町長が5地区を代表してマスコットキーを受け取りました。

宗宮町長は「災害に備え、救護体制の充実に努めて、地域の安全・安心に取り組みます。」とお礼を述べました。



▲引き渡し式の様子



▲調印式での宗宮町長(左)と磯川組合長

8月13日(月)、災害時における水道施設の早期復旧を目的として、揖斐川町と揖斐川町水道組合(組合長磯川賢二)が防災業務協定を締結しました。

揖斐川町水道組合は、町内15業者で組織されており、協定では、大規模な台風や地震などによって断水や水道施設の事故等が発生した場合に給水用資材や応急復旧資材の貸与や提供、作業を行うこととしています。

調印式で磯川組合長は「災害時は飲料水の確保が大切であると思いましたが」とあいさつされ、宗宮町長は「災害時等いざという時には水が一番必要となります。支援をお願いします。」と話しました。

災害時の飲料水を確保

↳水道組合と防災協定



▲峯神社での奉納踊りの様子

三倉の太鼓踊(県重要無形民俗文化財)が、8月15日(水)、三倉地区(久瀬)で行われました。

この踊りは、約700年前に源氏の武將たちが戦勝を祝って踊ったのがはじまりとされ、現在は雨乞いや無病息災を祈願する踊りとして、三倉古代太鼓踊り保存会が伝統を受け継いでいます。

この日は、天候が悪く、踊りは夜の部のみ峯神社で行われました。

雨天が予想されたため、華やかな「シナイ」は背負いませんでしたが、大人と子どもが入り混じり、力強い舞を披露しました。

三倉の太鼓踊

↳夏の夜の力強い舞



▲力強い伝統の舞(光明寺にて)

8月16日(木)、春日川合地区で川合太鼓踊りが行われました。

川合太鼓踊りは、9人の踊り手と4人の笛で構成され、ボンデンという幣束をもつ踊り手が、列の先頭に立って踊りの指揮をとり、列の最後尾には「ヤクガシラ」という踊り手が太鼓を抱きかかえ、激しく動きながら太鼓を打ち鳴らすものです。

光明寺では大勢の見物客が見守る中、お盆の時期に合わせた力強くも華やかな先祖供養の送り太鼓として舞が披露されました。

春日の太鼓踊り

↳春日川合地区



▲田中旭泉さんの筑前琵琶

8月17日(金)、谷汲山華厳寺の境内で、谷汲門前街並づくり委員会主催の「お十七夜コンサート」が開催されました。

コンサートには、約600人が集まり和太鼓ユニットの「TRY」と筑前琵琶奏者の田中旭泉さんの演奏を楽しみました。

谷汲山華厳寺の仁王門をバックにかがり火や照明で演出された幻想的な雰囲気の中、力強い和太鼓と情感たつぷりの筑前琵琶の音色が夏の夜空に響き渡りました。

お十七夜コンサート

↳谷汲山華厳寺

岡島橋架け替え工事完成開通式典

道路幅が広がりました

8月22日(水)、国道417号の岡島橋架け替え工事が終了し、開通式典が行われました。

揖斐川に架かる旧岡島橋は、築73年が経過して老朽化していました。道路幅も大型車のすれ違いが困難であったため、架け替え工事が進められていました。新しい岡島橋は、全長192メートル(事業区間570メートル)、車道幅7〜10メートルで両側に幅2メートルの歩道が整備されました。

開通式典には、関係者ら約400人が出席。式典に出席された古田肇知事は「岡島橋の開通をきっかけに揖斐川町のさらなる発展を願っています。」とあいさつされました。宗宮町長は「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の来町者が快適に通行できるなど交流人口の増加に伴う地域の発展に期待しています。また、災害に強い道路づくりの支援を引き続きお願いしたい。」とあいさつしました。

開通式典後には、いび幼児園児によるミナモダンスやテープカットなどが行われ、地元住民の3世代夫婦11組による渡り初めで岡島橋の開通を祝いました。



▲開通を祝って渡り初めをする3世代夫婦



▲テープカットの様子

水道施設を美しく

清掃奉仕活動

8月24日(金)、揖斐川町の水道工事店有志15社によって、町内の水道施設(3か所)で、清掃奉仕活動が行われました。

この奉仕作業は毎年行われており、15事業所から各1名、計15名で早朝からお昼まで、水道施設やその周辺の草刈りに汗を流しました。施設周辺は、とてもきれいになりました。

清掃奉仕活動に参加された皆さんありがとうございました。



▲水道施設草刈りの様子

揖斐川町伝統芸能フェスティバル

いび祭り子ども歌舞伎塾

8月25日(土)、揖斐川町中央公民館で「揖斐川町伝統芸能フェスティバル」が開催されました。今年度は、子供歌舞伎の伝統を保存継承するために組織された歌舞伎保存会「いび祭り子ども歌舞伎塾」が本格的舞台2演目を上演しました。

演目は、毎年5月に開催される揖斐まつりでも上演され、おなじみとなっている「鏡山田錦絵」と「碁太平記白石噺」新吉原揚屋の場」で、子ども役者たちは、稽古を重ねてきた成果を存分に発揮し、訪れた観客からは大きな拍手が送られていました。



▲熱演する子ども役者たち

小学生県外研修派遣事業(北海道芽室町・高知県宿毛市)

～ホームステイと農業・漁業体験と学校交流～

8月20日(月)から24日(金)まで、町内の小学校6年生20人が県外派遣研修で北海道芽室町と高知県宿毛市を訪問しました。

児童たちは、芽室町では農家にホームステイしてジャガイモやトウモロコシの収穫など、十勝平野の大規模な農業を体験しました。宿毛市では、海でかご漁を体験した後、とれたての魚を自分でさばいて味わうなど、漁業を体験し、岐阜県にはない「海」を楽しみました。

参加した児童たちは、「芽室町や宿毛市の子に揖斐川町のことを知ってもらえたし、自分たちも色々なことを学ぶことができました。」と揖斐川町とは異なる環境での体験に感動していました。

平成24年度県外研修派遣事業
参加児童

★北海道芽室町(12人)

- 揖斐小学校 太宰 真証さん
 中村 駿希さん
 野原三咲貴さん
 太田 義貴さん
 窪田 奈海さん
 河瀬 陽香さん
 今村 凌大さん
 野原万由子さん
- 大和小学校
 北方小学校
 清水小学校

★高知県宿毛市(8人)

- 小島小学校 所 嵩也さん
 谷汲小学校 横山みのりさん
 春日小学校 小林佑衣奈さん
 養基小学校 成瀬 敦輝さん
- 大和小学校 梶谷 莉央さん
 土屋 真里さん
 高橋 誓悟さん
 林 朋佳さん
 清水 春辰さん
 宗宮 董怜さん
 早見 知紗さん
 阿藤 晴香さん
- 北方小学校
 清水小学校
 小島小学校
 谷汲小学校



▲派遣団出発式



▲宿毛市での漁業体験(鯛の刺身づくり)



▲芽室町でのジャガイモの収穫体験

親子体験 鮎釣り教室開催

～坂内川で親子が挑戦～

7月28日(土)、坂内川で揖斐川上流漁業協同組合が坂内公民館と共催で「親子体験教室 鮎釣り大会」を開催しました。

当日は、天候に恵まれ、30名の参加者は、講師の指導のもと、「鮎の友釣り」に挑戦しました。友釣りは、釣ろうとしている野鮎の縄張り内に、釣り人が用意したオトリの鮎に掛け針をつけた状態で進入させ、それに対して野鮎が攻撃してきたところを引っかける技法です。

参加した親子は、1本の竿を共用しながら鮎釣りを楽しみました。参加した子どもたちは「釣るのは難しかったけど、楽しかった。」「ぜひまた、挑戦してみたい。」などと話していました。



▲鮎釣りを楽しむ参加者